

日本産科婦人科学会データベース登録事業（周産期登録）に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

現在、国立病院機構東京医療センター産婦人科では、日本産科婦人科学会の研究である「日本産科婦人科学会データベース登録事業（周産期登録・生殖に関する登録・婦人科腫瘍登録）」に参加しています。

この研究の目的は、本邦における産婦人科領域の診療の現状（妊娠、分娩、悪性腫瘍など）を把握することで、さまざまな課題を抽出し、より良い産婦人科医療に反映することを目的としています。

この研究のため、2016年1月より2027年12月末までに受診した方の下記項目についての調査を行っています。対象となるのは当院で妊娠中に入院あるいは出産された方で調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（合併症の有無、治療経過など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

【利用し、又は提供する情報の項目】

①各領域共通

患者の年齢

②周産期領域（妊娠・分娩関連）

入院理由、不妊治療の有無、母体紹介の有無、妊娠・出産回数およびその内訳、喫煙飲酒歴、分娩週数、分娩方法、麻酔法、分娩胎位、誘導・促進の有無および方法、胎児心拍パターン分類、産科合併症、母体処置内容、出産体重、性別、Apgar 値、臍帯動脈 pH、児体格、児疾患名、胎児付属物所見、

産科既往歴、母体基礎疾患、母体感染症、母体使用薬剤、母体転帰、児の転帰

③婦人科悪性腫瘍領域（婦人科癌関連）

疾患名、治療開始日、進行期分類（FIGO 分類および TNM 分類）、組織分類、局所進展、所属リンパ節転移、遠隔転移、治療内容と手術術式、予後

調査したデータは本研究の代表であります日本産科婦人科学会（代表研究者：池田智明）に周産期登録については電子媒体として郵送にて提出され、また婦人科悪性腫瘍登録については Web 上で登録され厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020 年 5 月

東京医療センター産婦人科

研究責任者 山下 博

連絡先 03-3411-0111